

報道機関各位

ホラシス Horasisアジアミーティングの開催について

Horasis アジアミーティングを、下記のとおり開催いたします。当初、2020年の開催を予定としていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2年間延期となったものです。

Horasis アジアミーティングは、今回が日本初開催であり、本市において、コロナ禍以降に対面のみで開催する初めての大規模国際会議となります。

この会議では、アジアを中心とした企業経営者や投資家等が、経済分野を中心に、昨今の世界情勢を反映した、気候変動問題、エネルギー問題、ポストコロナ等、様々な課題の解決とより良い社会づくりに向けた活発な議論を行います。



Horasis と開催都市選定に
関する基本合意書を締結
(2019年8月)



Horasis アジアミーティング
(2019年11月・ベトナム)

Horasis は、スイスのチューリッヒに本拠を置く世界的なシンクタンク。名称は、ギリシャ語で「to see, as in a vision (訳：未来像を抱く)」という意味で、会議を通じて持続的な未来のためにビジョンを設定することを目指している。

1 開催概要

日 程：令和4年11月20日(日)～22日(火)

【22日はエクスカージョン】

場 所：北九州国際会議場 他

参加者：Horasis からの招待者、約30か国から200名程度

主 催：Horasis

北九州市(共同主催)

Horasis アジアミーティング北九州実行委員会(共同主催)

2 主な参加者（予定）

- ・フランク ユルゲン リヒター（Horasis 会長）
- ・小宮山 宏（アジア低炭素化センター センター長）
- ・ビノド セカール（ペトラグループ 会長兼 CEO）
- ・ギリシュ ラマチャンドラン（タタ・コンサルタンシーサービス アジア太平洋法人社長）
- ・堀 義人（株式会社グロービス 代表取締役）

3 会議内容（詳細は別添参照）

（1）全体会（Plenary）

著名なスピーカーによる、参加者全体に向けたパネルディスカッション。全5回。

（2）分科会（Sessions）

複数のスピーカーによる対話型セッション。本市の強みでもある環境や SDGs に関するテーマが全体の約 1/3。世界的な課題としてポストコロナに関するテーマも多数設定。

- ① 経済……………7コマ
- ② 環境……………5コマ
(うち一つが北九州セッション)
- ③ SDGs……………3コマ
- ④ ポストコロナ……3コマ
- ⑤ 社会……………3コマ
- ⑥ ウクライナ問題…1コマ

（3）北九州セッション

分科会のうちのひとつを、北九州セッションとして開催。テーマは「グリーン社会に向けた ESG 投資の拡大」。

本市と関連のある企業や団体の方が登壇し、本市の環境技術や取組を参加者に向けて効果的に発信する。

4 エクスカーション（市内視察）

参加者に北九州市を体感してもらうためのエクスカーションとして、市内観光施設や環境関係企業の視察を実施。

5 環境国際ビジネス創出に向けた取組

（1）市内企業・団体等 PR ゾーンの設定

会場内に市内企業・団体等の PR ゾーンを設置し、各々の取組や優れた技術を参加者にアピールする場を設ける。

（2）環境ビジネスネットワーキングブースの設定

上記（1）のゾーン内に環境関連企業に関する情報提供や、参加者からの企業照会対応専用ブースを設置し、参加者と市内企業等とのマッチングの機会を創出するなど、市内企業の海外ビジネス展開を支援する。

- (3) 本市事業 PR
会場内に本市の取組を紹介するパネルを設置し、参加者にアピールする。

6 併催事業

- (1) 海のお掃除プラント&ロボット夢コンテスト 2022
国内外から海洋ゴミ問題を解決するロボットのアイデアを広く募集し、11月20日(日)に、最終審査会及び表彰式を公開で実施。
- (2) 若者世代の情報発信
北九州市立大学の学生と連携し、市内における脱炭素やSDGsに資する取組について、学生自ら情報収集し、その取組内容や本活動を通じて感じたこと等を動画にまとめ、会場内で放映する。
- (3) エコライフステージ 2022
例年開催しているエコライフステージを同時期に開催する。

<取材要領>

※Horasis アジアミーティングに係る取材要領については、後日配布予定です。

【問い合わせ先】

環境局環境国際部環境国際戦略課
武藤(課長)、永原(係長)
電話：093-662-4020